

2019. 6月

東町一丁目市有地の利活用を考えよう

ワークショップニュース

3



発行：武蔵野市役所総合政策部資産活用課 TEL:0422-60-1973 FAX:0422-51-5638

5月19日（日）の13時半から、ワークショップ『東町一丁目市有地の利活用を考えよう』第3回を吉祥寺東コミュニティセンターにて開催しました。五月晴れの気持ちの良い午後、20名の市民の方にご参加いただきました。

前回のワークショップの後、市では『吉祥寺東町一丁目市有地利活用についての意見交換会』とサウンディング型市場調査、参考施設の見学を行いました。その報告をした後（p2）、まずは検討対象地で敷地を確認しました。各自、敷地読み取りアンケートにお答えいただいた後、グループで配置計画を検討していただきました（p3～6）。その後、この地域で是非実現したい機能について話し合い、建物構成シートにまとめました（p7～8）。続いて、その提案施設の事業運営について、自分が関われることや、他に協力して欲しい人などを出し合いました（p9～10）。最後に、このワークショップの成果への思いを、今後設置する検討委員会に向けた手紙に書いていただき（p10～12）、予定された3回のワークショップを終了しました。

ワークショップに熱心に参加された方々の意見の方向性はある程度見えてきましたが、この場に参加できなかった多くの方にもこの内容をお伝えしながら、さらに構想を調整していくことが今後の課題だと思います。みなさんの周りの方にもこの成果について是非お話し頂き、より多くの意見を検討委員会にお寄せ頂ければと思います。限られた回数でしたが、貴重な時間を共有して頂きありがとうございました。建物の完成まで引き続き関心を持って見守って頂くようお願いします。お疲れさまでした！

全体スケジュール

2018. 10. 17

第1回ワークショップ

* 地域の課題・ニーズを知ろう

2018. 12. 11

第2回ワークショップ

* 新しい施設の多機能化と複合化を考える
* 施設の運営方法を考える

2019. 5. 19

第3回ワークショップ

* 施設の配置計画を考える
* 必要な機能の整理
* 運営への関わり方

2019年度

検討委員会

2020年度

サウンディング調査
庁内調整・検討

＜第3回ワークショッププログラム＞

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：第2回以降の経緯の報告
- ステップ3：配置計画を考えよう
- ステップ4：必要な機能の整理
- ステップ5：運営への関わり方を考える
- ステップ6：検討結果の発表
- ステップ7：検討委員会への手紙



第2回ワークショップ以降の経緯について報告

市から意見交換会の報告をした後、サウンディング型市場調査^{※1}の結果と参考になりそうな施設見学の報告をしました。

サウンディング型市場調査の結果報告

5つの事業者からご提案いただきました

	活用アイデア	活用イメージ	社会（地域）貢献について
1	看護小規模多機能型居宅介護サービス	・平屋建てに看護小規模多機能型居宅介護サービスと地域交流スペース	・いきいきサロン事業を基礎として、多世代交流、地域の方が気軽に集える相談窓口
2	障害者グループホーム ^{※2} を中心とした複合施設	・障害者グループホーム、訓練施設とショップの複合施設	・訓練施設で作ったものをショップで販売し、地域に還元
3	A 地域密着型特別養護老人ホーム（サテライト型 ^{※3} ）	[B 1～2 F] 特別養護老人ホーム	・多世代交流スペースの設置・事業企画・運営
	B 老人福祉センター ^{※4} 、看護小規模多機能	[1 F] 老人福祉センター（B型） [2 F] 看護小規模多機能	・老人福祉センターにて多世代交流
4	認知症高齢者グループホーム	・地域に開かれたグループホーム	・余剰スペースの活用
5	福祉作業所 ^{※5} を中心とした複合施設	・福祉作業所とショップ、カフェ等の複合施設	・「福祉作業所で制作した物」を販売、また、それをきっかけにワークショップ等を開催し、地域の交流拠点となることを目指す

前回のワークショップ参加者から複数ご提案いただいたカンタキについては、事業者から「100坪程度あれば運営可能」とのお話があった他、「前面道路の狭さや駐車台数を一定数確保する必要がある」など課題についてご指摘をいただきました。

施設見学の報告

はつらつセンター豊玉（練馬区）

老人福祉センターのA型。社会福祉法人が指定管理を受けて運営。高齢者向けの幅広い事業に加え、子どもやその親を対象とした交流食堂を実施しているというのが特徴。

★事業内容としては武蔵野市でいうと、高齢者総合センターに近い印象。

暮らしの保健室（新宿区）

相談事業の他、講座や専門職の勉強会等も行う。「居場所」としての利用も多い。ここを利用して元気になった人がボランティアとして活躍するなど支援の循環が生まれている。行政や病院による医療・介護・福祉ケアのすきまを埋める事業で、各分野を「つなぐ」場になっている。

- ※1 市有地等の有効活用に向けた検討にあたって、その活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、対話を通じて市場性を検討する調査のこと。
- ※2 身体、知的、精神障害者等が世話人の支援を受けながら、地域のアパート、マンション、一戸建て等で生活する居住の場。
- ※3 メインの老人ホームの支所。メインの老人ホームから20分以内に駆けつけられる場所に設置。
- ※4 60歳以上の市民を対象に憩いとやすらぎの場を提供し、高齢者福祉の増進を目的に設置。A型には大きな風呂があり、B型にはそれがない。
- ※5 障がい者の方が日々、日中働く場として通所する施設

【設問1】外部空間の位置（単位：人）

エリア①	4
エリア②	0
エリア③	3
エリア④	7

（コメント）

- ・②と③の南側
- ・②と③の間
- ・②と③。中心がよいと思います。
- ・中央に

【設問2】住宅や道路からの離れ（単位：人）

	1 m	1.5m	2 m	3 m	4 m	5 m
北側	2	2	3	7	0	2
東側	4	2	1	6	1	0
西側	3	3	5	3	0	1

（その他）

- ・北側は1～1.5m。駐車場との関係で、東側、西側のどちらかを広く。
- ・敷地の中心に建物を配置するのがよいと思います。
- ・土地の真ん中に建物を配置する。
- ・東側は1～2m。

【設問3】松について（単位：人）

	残す	伐採
a	8	7
b	3	13
c	12	6



松について

～シンボルツリーとして活かす～

- 車の出入りに邪魔にならない1本をシンボルツリーとして残せないか。
- シンボルツリー的。
- いやし、過去と未来をつなぐもの。
- あえて残すならaの松だが、手入れに費用のかかる松は抜いて、他の樹木を木陰となるよう配置するのも良いと思う。シンボルツリーとして松を残すのは賛成。
- aの松を西よりに移植する（間口を広く使うため）。松はシンボルですが、施設名に平井先生の名前を入れて下さい（例えば平井さんちとか…）。
- できれば残して、この場所の象徴になればよいと思いますが、そもそもなぜここに松の木があるのでしょうか？（平井先生の想いや意図は？）

駐車場、駐輪場を最大限確保する施設を前提に回答した。松の木は心情的に言えば「残せるなら残した方が」と誰もが思うと思うが、用途次第では残せないと思うし、「松の木を残した方がよいと思うか？」と、用途の話抜きに問うてもあまり意味はないと思う。

～庭で活用～

- 庭などのスペース次第でしょうか。
- 前庭のアクセントとして有効。
- 庭園の一部として活用（和風）。今の位置で不具合がある場合、移植ということは可能か？
- Cを残して和風庭園を。
- 出来たら左右へ2本、残したい。

～伐採は致し方ないか…～

- a, bは場合によって撤去。
- 松ではなくお花の咲く木や実のなる木を植えたいですね～。
- できれば残したいが、駐車を考えると松を残すのが厳しい!!
- 出来るだけ多く残したいが、車等の交通を考えると真ん中のみ除くか。自然にしたい。
- 松の木の手入れは大変。平井家は年2回、植木屋を入れ、あの大きさでおさえていた。なくても良いのでは。
- 松の手入れが大変だと誰かが話していました。3本でなくても1本でも、多額になってしまうのでしょうか。

その他気づいたこと

～周辺道路の課題～

- 一方通行、道幅が狭い。
- うぐいす小路の北への一通、時間規制をどう考えるか。「暮らしの保健室」を活かして行きたい。
- 南側道路沿いに2 m程セットバックし車止め(駐車場に非ず)のスペースを確保する。
- あの敷地に老人の施設があるとしたら前の道及びうぐいす小路の交通が不便。うぐいす小路を自転車や車椅子が通るのは今でも怖い(私はストップして足をつけて待つ)。
- 自動車の入出庫の困難性を考えると、東コミセンとの有機的利活用は考えるべき。

～憩いの場にしたい～

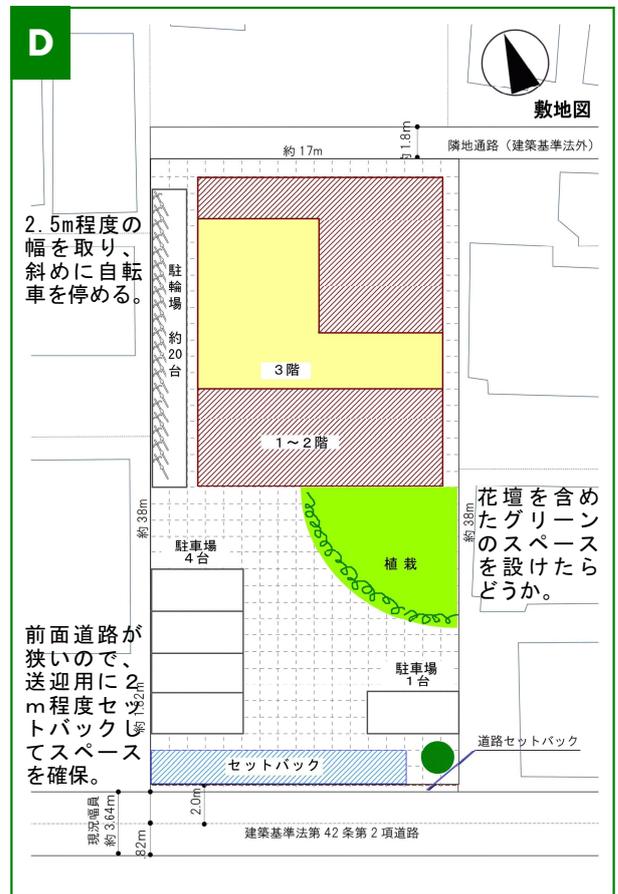
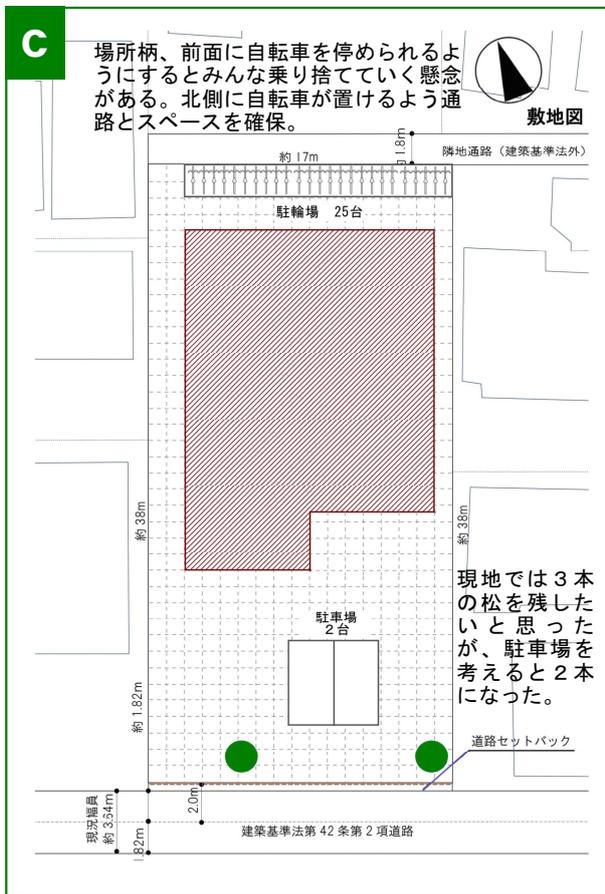
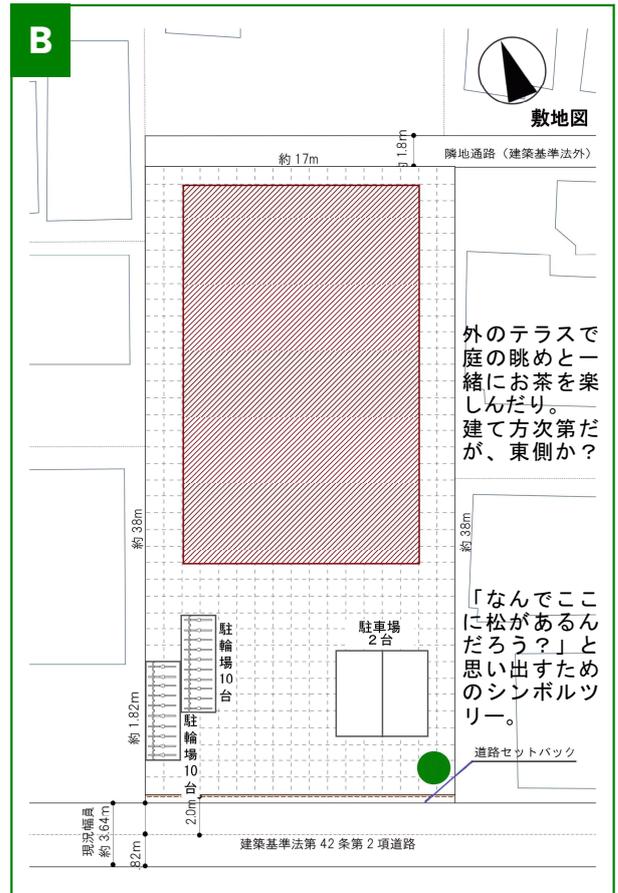
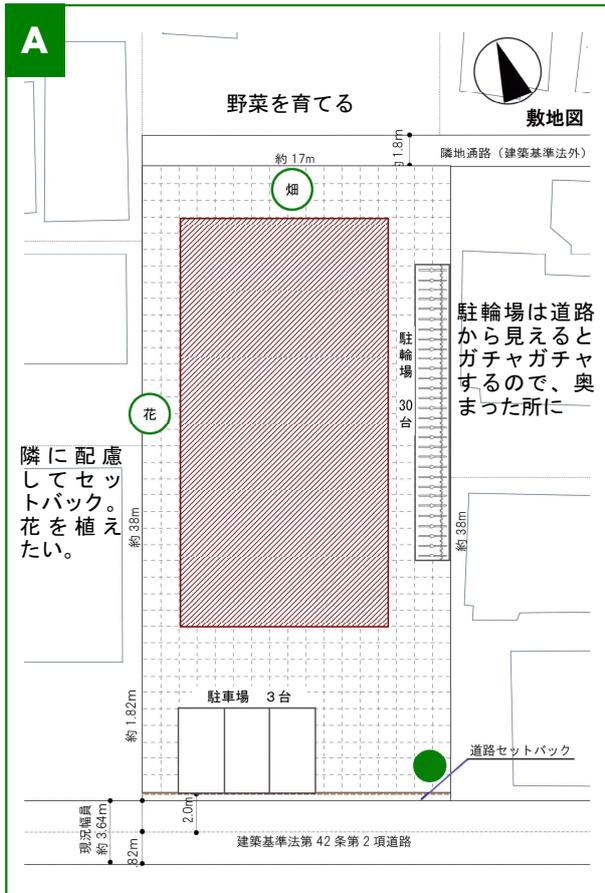
- 建物ができたとしたら周りをぐるっと、一周歩けるようになっているとよい。2階建てだとしたら屋上が公園になっていて(富山の美術館の屋上のような)、そこが憩いの場になるとよい。そして大きな空が感じられるとよい。
- 建物の中央に緑が見えるように坪庭というような、上から光が射し込んで緑が見えると良いと思います。そこには眺めるベンチを配置する。
- 塀に覆われている。閉鎖的。塀はなんとかつくりなおしていただきたい。

～周辺や環境に配慮した施設に～

- 住宅に迷惑をかけないため、今後のトラブルを避ける為、敷地に張ったピンクのひもの枠内で良い。
- 道路の狭さは課題だが、宮本小路までも、それほど長い距離でないので何とかかなると思う。
- 北側に駐輪スペースという話も出ましたが、通路が私有地のようなのでどうでしょう。駐輪が可能だったら北側がベストかも。住宅地の中の施設なので、一定の配慮(音や話し声、車など)が必要だと思いますが、話し合いも大事だと思います。進め方にも配慮をお願いします。
- 総2FはN G。周りとの調和が欲しい。車は積極的にN G。駐車場の車は医療機関に任せる。
- 建物の外観は周囲の家々とあまり違和感が無いようにしたい。地下の利用はできませんか?屋根に太陽光発電装置を設置するなど、災害時に自立できる施設を希望します。敷地内に井戸はありましたか?
- ソーラーを付けたらとの声もありました。
- 駐輪を北スペースに。駐輪して駅前に行ってしまう人がいるのではー?という懸念から。

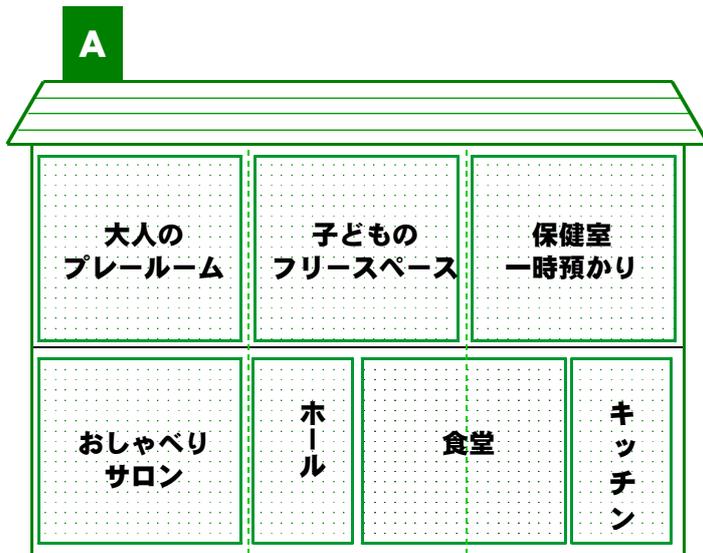


<グループの検討結果>



必要な機能と、施設への関わりの検討

この地域では是非実現したい機能を絞り込み、建物構成を検討しました。
また、自分が関わること、協力して欲しい人をリストアップしました。



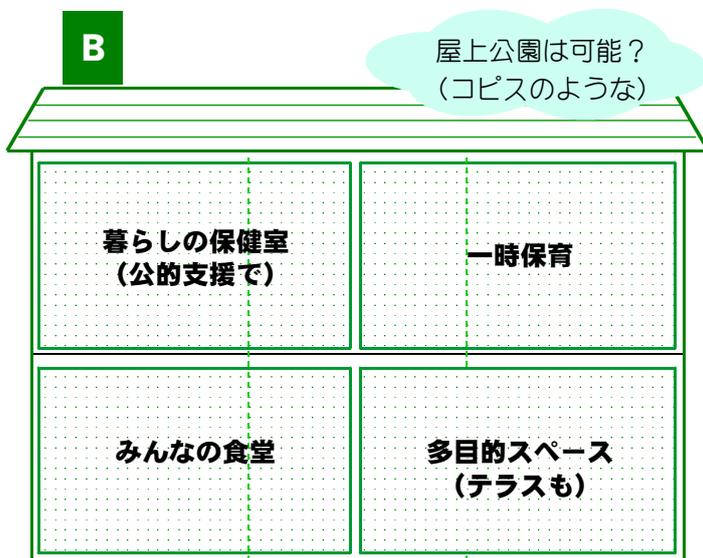
1階のアクセスしやすいところにおしゃべりサロン、いろんな人が集まってしゃべれるようなところにする。

2階は各世代が遊べるような場所に。保健室と一時預かりの幼児や子どもが遊べて、大人が麻雀などをして遊べるような建物が良いと思う。



★ 実現可能で且つこの地域では是非実現したいと思う機能（個人回答）

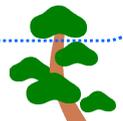
- ・ 食堂、キッチン
- ・ キッチン。子どもから高齢者までの食堂。
- ・ はつらつセンター豊玉に似た交流食堂。子ども食堂、年寄りも共に。
- ・ キッチンと食堂（誰でも利用できる）
- ・ 保健室
- ・ 相談ができる保健室的な部屋
- ・ おしゃべりサロン
- ・ 幼児から高齢者が一緒に過ごせるような居場所



屋上公園は可能？
(コピスのような)

スロープで上げれる
(運動になる！)

必要に応じて仕切って使うにしても、何かの時にはこのスペース全部を一体的に使える形にしたい。建築の問題上、柱が必要などころはあるかもしれませんが、そういう使い方ができるようにしておきたい。



★ 実現可能で且つこの地域では是非実現したいと思う機能（個人回答）

- ・ テンミリオンハウス
- ・ テンミリオンハウスのような高齢者向けデイサービスや食事スペース
- ・ 高齢者のゲームセンター
- ・ 多世代交流の場
- ・ 憩いの公園
- ・ 多世代交流。食堂サロン、多目的スペース。
- ・ 子ども食堂
- ・ 暮らしの保健室（含むつろぎサロン）
- ・ 暮らしの保健室、地域のエリア、まちぐるみの支え合い
- ・ 防災、福祉、青少年問題、防犯、ゴミ問題、高齢者…すべての課題へのコミュニティづくり出来る（機能）スペース。



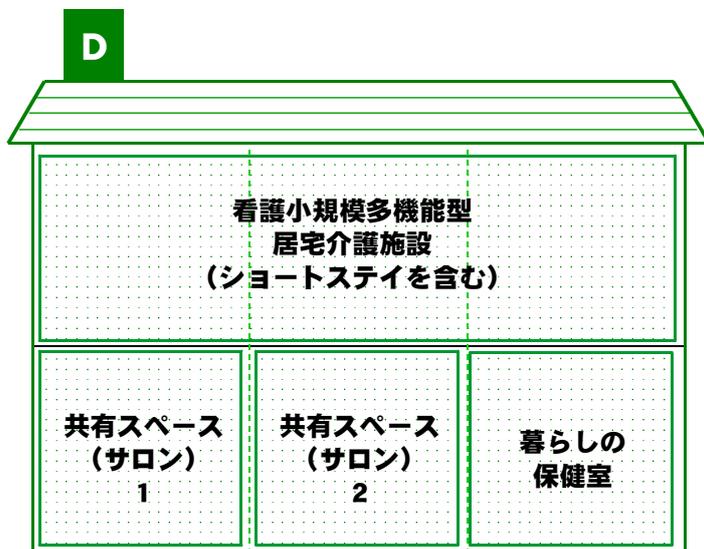
エレベーターは
マスト!

前回まで出ていたカンタキを今回、急にみんなが諦めてしまったが、気持ちとしては必要だと思う。建物の使い分けを考えた時に、医療的な、健康を維持するための設備と、交流の場というサロン機能の二つに絞って配置した。



★ 実現可能で且つこの地域では是非実現したいと思う機能（個人回答）

- ・ 看多機
- ・ おもちゃ病院、受付、作業室（兼も可）。3Dプリンターを置きたい。
- ・ 住民主体の互助サロン。※生き甲斐
- ・ 住民のサロン（老若男女：食事や喫茶、趣味のためのスペース）
- ・ サロン（異年代で交流できる場）
- ・ マギーズ東京（みたいな）
- ・ テンミリオンハウス（老人、子ども、幼児と一緒に居られる）
- ・ 多世代にわたる食と教育の場
- ・ 暮らしの保健室のような気軽に相談できる所（看護者、介護者の息抜きも含めて）
- ・ 相談所



カンタキは駐車スペースの問題で厳しいということがあったが、それとは関係なく、ここをカンタキ機能の場として1フロア全部を使ってやりたい。

容積率はフルに使う中で3階建も考えて良いのではないかと。北側斜線に配慮しながら100㎡ぐらいの小さなスペースを3階に設けた。



★ 実現可能で且つこの地域では是非実現したいと思う機能（個人回答）

- ・ ショートステイ施設（地域包括センター東町）
- ・ 共有スペース。比較的自由に利用できるスペースはほしい。患者会、情報交換会など、武蔵野市で欠けている部分が実現できる所。
- ・ 高齢者の認知症予防のためのサービス提供。「歩いてくる人中心」。車なし。
- ・ 暮らしの保健室
- ・ テンミリオンハウス
- ・ 高齢者のサロン（ランチあり）。子ども食堂。昼夜で使い分ける。
- ・ サロン
- ・ 老人、子ども達の憩いの場、学びの場、娯楽の場
- ・ 看多機。5台の駐車場などなくても機能している施設はあった。他に駐車場を借りる。
- ・ 個人診療所施設。曜日別賃貸クリニック。高地価により作れない（開業医不足への対応）。



私にできそうなこと

日常的な手伝い



- ・カギの開け閉め
- ・掃除(2)
- ・事務仕事や掃除等のボランティア
- ・日曜大工
- ・簡単な自転車修理



子ども

- ・託児
- ・子ども対象の読み聞かせ、工作
- ・おもちゃの修理

みんな

- ・おしゃべりの相手
- ・話し相手(2)
- ・歌の伴奏
- ・大人、子ども、若いお母さんの話し相手
- ・交流スペースのコーディネーター
- ・味覚障害情報交換、抗がん剤副作用、ストマ情報交換

食堂



- ・食堂のかたづけ
- ・食堂のお手伝い
- ・食堂、キッチン、配膳、食器洗い等



庭

- ・野菜や花づくり
- ・かんたんな野菜作り
- ・庭仕事
- ・庭の花の世話
- ・球根植え、チューリップ、ゆり、その他
- ・公園の整備



高齢者

- ・高齢者のお話相手
- ・高齢者対象のレクリエーション
- ・介護ヘルパーの仕事(ボランティア)
- ・高齢者の方と童謡を一緒に歌う 🎵 🎵 🎵



関わってほしい人



- ・お料理が得意な人
- ・子育て支援
- ・補修教室
- ・地域の草花のエキスパート
- ・一時預かりの手伝い
- ・おもちゃ病院の病院長
- ・吉祥寺の飲食店。食堂で調理、食材の提供



全体での意見交換

子ども食堂について



参加者1：今、武蔵野ではどれぐらいの需要があるのか。特にこの東町近辺ではどうなのか。

全国的に7人に1人の子どもが貧乏な家庭にいるということだが、実際にはどうなのか、よく分からない。



武蔵野市：武蔵野の場合は貧困というよりは、大人を含めた孤食をいかに解消するかがテーマのようだ。市内にもいくつか民間でやっている子ども食堂があると聞いている。ただ毎日やっている、毎週やっているというところは少ない。

やっているところの話聞く限りでは、やるたびに大人も含めてたくさんの利用者がいて、ニーズはあるが、運営するのは大変とのこと。中町のテンミリオンハウスくるみの木の隣や、駅のそばにも子ども食堂がある。その他、延命寺、西部コミセンでも月1回やっている。

カンタキ について



参加者2：今日参加の皆さんの意見で、いろんなパターンの組み合わせが出たが、介護を必要とされている、切羽詰まった方は、このワークショップにも出て来られない状況である。

「あったら良いな」という、今日ここに来られている元気一杯の私達が希望しているものとは別の、今、市内で現実的に本当に困っていて、「どうしても必要である」という、ここにも来られない人のサポートを、一体みんなでどうやっていくのが今日のこの時点では分かりにくいと感じた。



武蔵野市：武蔵野市は土地も高く敷地が狭いので、これからは小規模多機能よりは、看護付小規模多機能が良いのでは、という考え方がある。今は市内に1カ所しかないので、3カ所は欲しいという話を福祉の方から聞いている。まとまった土地で、国や東京都の土地を狙いながら、福祉の方では看多機をどう配置していくかを検討していると聞いているが、この場所に造れるなら一緒に考える余地はあると言われている。

絶対ここには造ってくれるなとも、絶対ここに造ってくれとも言われていない状況。

ファシリテーター：住宅地の中なので、周辺の方に事前に了解を得ないと、いきなり計画を出す意見がいろいろと出る可能性もある。車の出入りの問題が一番あると思う。

検討委員会への手紙

今回のワークショップの成果への思いを「検討委員会への手紙」に書いていただきました。

ワークショップに参加して

- 第1回から参加して行くうちに、いろいろとみなさんの意見、また自分の考えも変わってきたりと、グループメンバーも違っていたので楽しく興味深く学ばせていただきました。実際、どの様なものが出来るのか楽しみでもあります。元気でいられたらお手伝いができたらうれしく思います。
- 3回に渡るワークショップや見学会で、大変お世話になりました。平井医院跡地について考えるという事は、地域全体についても考えることにつながりました。どのような施設ができて、できる限り支援して行きたいと思えます。若い人達や身体の不自由な方々の意見も吸い上げられるようなワークショップであったら更に良かったと思えます。平井医院跡地ワークショップについての案内板を立てると良かったのでは？内容や機能はどうなるにしろ、災害時に自立できる施設にすることが肝要だと思います。
- こんにちは。まず近頃のWSが行政がのちの住民からのクレームを避けるためのものになっているように思いました。素人が建物の配置を考えても妙案はでませんし、行政側の誘導のようにも捉えられます。建物は武蔵野プレイスのようにプロポが適当かと思えます。それについて既得権益ではない意見をWSで求めれば良いと思います。それよりもWSで用途の選定、その運営について考えないと、今回も「あったらいいな用途」と「切実に看多機が必要では？」と曖昧なままWSが終わってしまいましたが、民間事業者が国道沿いにあるような建物をあそこに建ててしまっただけでは、住民はそこに愛着を持ってないし、そもそも看多機に住民が絡めるのかのWSが必要になると思いますので、またWSに参加したいと思います。



ワークショップの意見を活かしてほしい

- 普段あまり交わることのない近隣住民の方々と話す機会はとても貴重でした。この土地をどのように活用するのか、会を重ねるごとに現実的に、そして全体が同じような方向性になってゆき、この会の開催はよい成果と言えるのではと感じます。これからまた検討委員会が検討するということですが、この会の意見を最大限に活かしてほしいです。私、個人的には何かを作るよりも使うことによって作られるものがこの土地にできればよいと思っています。全3回の会を開催するために、様々な準備をされてとても大変だったであろうと想像します。市役所の方々、おつかれさまでした。そしてありがとうございました。
- 3回のワークショップを通して、地域の皆様の考え方、意見がさまざまである事を強く実感しました。近隣の方々と調和しながら地域に開かれた、みんなに利用され長く必要とされる施設ができるのにはたいへんなことも実感しました。より専門的な実質的な話し合いは難しい事ですが、ぜひ今回のワークショップの報告、地域の意見を汲み取って討議をお願いします。
- 東町一丁目市有地の利活用を考えようワークショップに参加して、東町全体の施設や参加された皆様との対話の中から、市の施設、特に高齢者向けの福祉施設がない事、又要望の高い事を再認識しました。スペースや採算が採れるかななどの問題もあるかと思いますが、是非、検討いただきたいと思います。提案シートには書けませんでした。地域の若い方々、社会人の方も含めての多目的スペースというか、居場所となるような施設になる事を望みます。
- 新しい施設は、故人（土地提供者）の遺志・人柄の反映と地域の福祉向上への寄与が両立するものであればと思います。前者については、故人は生前地域の医療に尽くされていた旨お聞きしましたので、その雰囲気を受け継ぐ、近くの方々が何かあったときに利用できるような身近な施設であればと思います。後者については、広さや交通の面で制約のある土地であることを学びましたので、専門家や事業者の知見も得て、そのような制約の中でも福祉の効用を最大化できるような施設を検討頂ければと思います。

看多機も検討してほしい

- 暮らしの保健室プラス複数グループから大人のフリースペース、大人のプレールーム、多目的スペースなどの希望が出ている。コミュニティセンターとは違う、申し込まないでも行ってみたら仲間がいるというような場が、子どもから大人まで求められている。しかしそれを主目的とした施設を市として新設できるのか。できるとしたら全市的に要望が続出する。行政として福祉的な立場から、今後ますますこの地域で（高齢独居女性が多い）必要になるたよれる機能がほしい。困難は承知で看多機に挑戦していただきたい。プラス、フリースペースで看多機にも参考になる活動が生まれると思う。
- この東町地区には介護を相談する場所や、助けて頂ける場所、テンミリオンハウス等がありません。それに加え1人暮らしの高齢者が増加しています。高齢になった時、病院に行きたくてもなかなか一人で行けない、相談にも行けない方々を救う、唯一のよりどころとして是非、看多機、暮らしの保健室は作って頂きたいと切にお願い申し上げます。市のご説明で看多機の実現は業者の選定で難しそうではありますが、頑張ってくださいたいナーと思っています。いずれ完成するこの施設にかかわれたことが誇りに思える施設が出来る事を願っています。
- 皆さんの様々な考え、想いを聞くなかで、新しい発想も生まれ、とても勉強になりました。ありがとうございました。看多機については、ハードルは高いものの東町には必要であると個人的には考えております。サロンと一口に言っても近くにコミセンもあるわけで、そこの役割分担を明確にし、専門職の意見が聞ける場所にして欲しいと思います。またマギーズ東京のように、行ったら心が軽くなるような、そんな場所になることを願っています。
- ショートステイ機能を含む看多機については、遠方への出張型訪問看護を中心に考える業者でなく、東町一丁目の施設を使っての看多機もしくは近隣地域（訪問は徒歩圏）を中心に訪問看護をやってもらえる業者を選定しては如何。勿論、必要に応じ市から補助金は必要かと思うが。規模は別として、看多機施設の設置は必要と考えます。

この地域に必要な機能を盛り込んでほしい

- 税金を使って建築し、場合によっては運営の支援もするのは市にとって負担となるが、採算はとれなくても市民の求める機能を盛り込んでもらえたらありがたい。施設によっては交通量や騒音など、近隣の方々には迷惑と感じられる点もあるかもしれないが、近隣の方も利用したい施設となれたら良いと思う。地域社協が地域の方々のつながりづくりを目的として、様々な活動を展開していくために、この施設も利用できたらありがたい。
- 思いがけず飛び込みで入れていただきました。「周りのお話では看多機で決まりそう」「テンミリオンになる」と伺っていたので、そのつもりで参加しましたが、色々問題点も見てびっくりしています。東町には病院が少なく、近くに本町や北町へ行けば用は足りませんが、医療の出張所的な物があると良いです。また「その場所に何があるかわからない」とか、一度も入った事がない施設にならないようにと願います。
- A. バスで市内の施設を回った。カンタキもひとつあったと思うが、平井さんの跡地で何人が恩恵に預かれるのかと思った。とても立派で淋しい感じがした。B. 出来るだけ地域の人々が大勢、利用出来る施設にして欲しい。子どもと老人が共に過ごすことの大切さを教えたい。自然に人間の営みを学ぶ様に。
- 65才以上の老人が市内でも多いこの地域で、老人施設が一つもないことが不安、というか残念です。身近にいた男性の老人（奥様が早くに亡くなり1人で生活していた）が南町のそ~らの家へ食事に行っており、「東町にもテンミリオンが是非必要なのだ」の感を強くしたのは今から5~6年も前のことです。自分も80才近くなって、いつ食事が作れなくなるか、在宅医療は可能なのかなど、老人としての心配が増えました。勿論、子どもが保育園に通っていた頃には病後保育+病児保育も切実でした。今の若い人にとっては依然、同じ悩みがあることと思います。福祉全般にもっと進めてほしいものです。
- 暮らしの保健室に市の方々と御一緒させていただきました。コミュニティ協議会だけではなし得ない事業（活動）ですので、武蔵野市に「暮らしの保健室」が出来る事を望みます。新宿区から財政上の支援があります。市でもこの機能については支援を…という事が出来ないでしょうか。コミセンも何らかの支援、出来ると良いのですが…。
- ①武蔵野市東町（地区）に医療機関が欲しい。
②武蔵野市東地区におもちゃ病院の拠点を作ってください（西地区にあり）。③②に関連して、住民が自由に出入り可能なスペースが欲しい。

近隣への配慮も忘れないでほしい

- 気楽に立ち寄れる多世代交流の場になればと思っています。住宅地の中に出来るのですから、近隣住民との話し合い、説明をしっかりと行ってほしいと思います。
- 街づくりに景観は大切だと思いますので、周囲の住宅に溶け込む様な土地活用と建物のデザインを検討して頂きたいと思います。武蔵野市の福祉のニーズという面からのみ機能を絞り込むのではなく、あの場所のあの土地をどの様に活用するかという面から検討をお願いします。近くに住む者としては、家の前の人の流れが極端に変わってしまう事はあまり望みません。
- ①平井先生の遺贈案件であることを第一に考え、第3者への丸投げ的な手法は避けてもらいたい。②他の市有資産も含めた合理的な活用を考える必要がある。③武蔵野市らしい独創的な施設を考えてもらいたい（武蔵境北口のような馬鹿げた市有地利用は困る）。④武蔵野市（吉祥寺）の伝統、風土に根ざした、吉祥寺らしいすぐれた施設をお願いしたい。⑤地元への説明等、面倒な案件になると思うが、将来に良いものを残して欲しい。

